

LI Xinさん（環境科学専攻・博士後期課程3年）の口頭発表が第5回珪質化石－花粉化石合同会議で若手最優秀講演に認定されました。

2016年9月15日から9月16日にイタリアのフィレンツェで行われた、第5回珪質化石－花粉化石合同会議における大学院自然科学研究科環境科学専攻地球科学コース・博士後期課程3年Li Xinさんの口頭発表が、最優秀講演と認められました。この賞は、30歳未満の最優秀発表者1名に対し微古生物学会が旅費を助成するというものです。

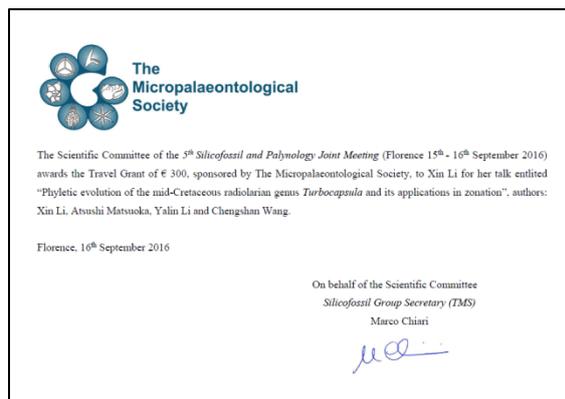
本研究では、中国チベット南部の白亜紀中頃の地層から得られた放射虫化石について、生物計測学的検討を行い*Turbocapsula*属の系統進化を明らかにしました。これまで、*Turbocapsula*属については分類の混乱があり、種間の系統関係が不明でした。連続層序での詳細な検討により、1新種1新亜種を提案し混乱に終止符を打ちました。この成果は、信頼性の高い化石帯区分を提案することに繋がり、地層の年代決定や広域対比に役立つと期待されます。

発表者：LI Xin（新潟大学大学院自然科学研究科・博士後期課程3年）
（指導教員：松岡 篤 教授）

演題名：Phyletic evolution of the mid-Cretaceous radiolarian genus *Turbocapsula* and its applications in zonation



LI Xinさんの発表の様子



助成決定の認定書